

# 備中県民局 マグネットシール作成

県備中県民局は、深刻化する児童虐待の防止につなげようと、啓発用のマグネットシールを初めて作った。地元の大学生が考案したデザインを採用。イベントなどで配る。(太田知二)

# 児童虐待防止を

児童虐待の防止を啓発するマグネットシール



シールは縦5センチ、横14・5センチ。シンプルな線で描かれた犬が、近くの児童相談所につながる全国共通ダイヤル「189」を吹き出しの文字で紹介。



日笠捺香さん

介。「1本の電話で助かる命があります」とメッセージを添えている。

川崎医療福祉大医療福祉デザイン学科の4年日笠捺香さん(22)がデザインした。子どもからお年寄りまで理解できるように、漢字に全て振り

## 川崎医福大 日笠さん デザイン考案

仮名を入れるなど工夫している。日笠さんは「どうしたら目に触れやすいかを考え、配色や図柄に配慮した。効果があればうれしい」と話す。

シールの作成にあたっては、管内(7市3町)の高校や大学など59校にアイデアを募った。寄せられた53点を1次審査で5点に絞り、7月のインターネット投票で最も支持された日笠さんの作品を最優秀賞に選んだ。

5千枚作り、県民局や管内市町村主催の催しなどで配る。同県民局福祉振興課は「家庭の冷蔵庫に貼って使いやすいサイズにするなど、実用性にも気を配った。幅広い世代で児童虐待について考えるきっかけになれば」としている。